

令和6年度実施の自己評価に対する学校関係者委員の意見とその対応方針

評価基準	評価項目	自己評価	委員の意見	対応方針
1. 教育理念・目標	(1) 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養成校として、両学科とも定められた理念と目標が明確であり、十分に組み込まれている。卒業生も増えており、県内外の学校や実習地の現場と引き続き情報共有を継続していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念と目標に基づいた教育に引き続き努めてまいります。</li> <li>・カリキュラムポリシーは、理学療法学科では本年度策定しましたので、引き続き救急救命学科での策定を進めます。</li> <li>・卒業生も着実に増えてきていることから、今後は卒業生はもとより、就職先との連携に努めます。</li> </ul>
	(2) 学校における職業教育の特色は何か	B		
	(3) 社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	B		
2. 学校運営	(4) 目的等に沿った運営方針が策定されているか	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校法人として、運営方針が明確化され、改善点を上げ事業計画が定期的に見直しされ、業務の効率化のため、オンライン会議、情報システムも構築が図られている。</li> <li>・学生のカリキュラム、法人の経営内容がホームページで公開されていて、内容もわかりやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確実性の持てる事業計画の策定に努めます。</li> <li>・引き続きより多くの情報を公開できるよう努めます。</li> <li>・校舎が分散していることについてはいかんともしがたいものがありますが、これをもって学校運営に支障をきたすことはありません。今後もより良い運営体制を構築します。</li> <li>・ホームページも更新に努めてまいります。</li> </ul>
	(5) 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	B		
	(6) 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確にされているか、有効に機能しているか	B		
	(7) 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	A		
	(8) 意思決定システムは確立されているか	A		
	(9) 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	B		
3. 教育活動	(10) 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部関係者による職業教育のシステムが構築され実施されている。両科とも、非常勤講師の授業や、より実践的な現場体験、職業教育の機会が得られている。</li> <li>・限られた職員数で、充実した授業提供に取り組まれ、国家試験の合格率も全国を上回っている。</li> <li>・教員の資質向上を目的として、指定の講習会や、代用の講習会の受講にも、引き続き取り組んでいただきたい。</li> <li>・「学生から社会人になり、労働力を提供し、その対価として給料をもらって生活していく。」ということをし、しっかり教えていただきたい。(社会に通用する人間形成をしてほしい)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師については、第一線で活躍している方を講師として引き続きお願いしています。</li> <li>・教員の採用については、年代バランスも必要ですが、現状では教育力を元に採用している状況です。現在、必要人員を確保できていない状況ですが、引き続き早急に確保できるようにします。</li> <li>・臨床実習では現場でどのようなことが起こりどのように対処すべきかを学んできております。学校では実習前後でそれが更に身に付くよう教育していきます。</li> </ul>
	(11) 修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	B		
	(12) 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	A		
	(13) キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	A		
	(14) 授業評価の実施・評価体制はあるか	B		
	(15) 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	B		
	(16) 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	A		
	(17) 資格取得に対する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	B		
	(18) 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	B		
	(19) 職員の能力開発のための研修等が行われているか	B		
4. 教育成果	(20) 就職率の向上が図られているか	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対策の継続により、退学者が減少傾向で退学理由も明確である。継続した対応が望まれる。また、国家試験や就職率向上の具体的な対策が実践され、全国平均以上の高い合格率が維持できるように今後も対応の継続が望まれる。</li> <li>・卒業後の動向を把握することは難しいが、卒業生の勤務する施設で実習が可能となることなどを考えると、関わりを構築する対応の継続が望まれる。</li> <li>・年度によって資格取得率に差があるので、できるだけ安定した高い取得率を得られることを希望します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度の合格率が高い水準となったのも、学生個々の努力はもとより教職員が一丸となった指導体制があります。今後も、これまで以上に補講や模擬テストの回数を増やし、合格率向上に取り組んでいます。</li> <li>また、学習意欲が減退し退学に向かう学生がいることから、例年以上に個別面談や保護者面談を増やし、退学者が増えないように努力しています。</li> <li>・卒業生の就職先については、可能な限り公開するようにします。</li> <li>・毎年、資格取得率が安定するよう個々の学生に対して指導する必要があります。</li> </ul>
	(21) 資格取得率の向上が図られているか	A		
	(22) 退学率の低減が図られているか	B		
	(23) 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	B		
5. 学生支援	(24) 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無料送迎バスや、安価な学生寮の提供、各種奨学金制度の紹介など、学生への経済的負担軽減に取り組まれている。</li> <li>・寮生への生活指導等、社会人としての人間性構築に取り組まれている。</li> <li>・国家試験に失敗した学生について、卒業翌年度までフォローアップする体制や、就職施設の情報把握による在校生への就職活動支援などが継続されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生に対する経済面での支援体制については、本校も国の新たな修学支援新制度の対象校となっており、対象となる学生に対しては入学金や授業料の減免に取り組んでいます。次年度も引き続き対象校となることとなっていることから、引き続き対応します。なお、学校説明会等においては、この制度があることについて説明しています。</li> <li>・学生寮に関しては、集団生活になりますので、決められたルールで生活していくよう指導しております。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症が5類となったものの油断せず、引き続き感染防止対策の徹底を呼び掛けます。</li> </ul>
	(25) 学生相談に関する体制は整備されているか	A		
	(26) 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	A		
	(27) 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	A		
	(28) 課外活動に対する支援体制は整備されているか	B		
	(29) 学生の生活環境への支援は行われているか	A		
	(30) 保護者と適切に連携しているか	A		
	(31) 卒業生への支援体制はあるか	B		

評価基準	評価項目	自己評価	委員の意見	対応方針
6. 教育環境	(32) 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習指導者が増えてはいるが、実習先確保に苦労されている。実習指導が可能となった卒業生もいるため、勤務する施設で実習が可能となることなどを考えると、関わりを構築する対応の継続が望まれる。</li> <li>・防災に対する対策は、引き続き継続されることが望まれる。</li> <li>・職場への実習、見学、ガイダンス等、希望があればいつでも、お受けします。</li> <li>・応用の利く学生で、実習でも、とても優秀である。今後も優秀な人材を育ててほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設修繕については、その都度、学園本部と協議していますが、限られた予算の中であり、全てを実施できないでいる状況です。引き続き、整備に努めます。</li> <li>・救急救命学科の実習施設については、一定程度確保していることにより安定した実習が続けられます。理学療法学科では、令和2年度より臨床実習指導者講習会の開催により、実習指導者数も増加してきていることから、引き続き講習会を開催の予定です。実習施設へは積極的に参加して頂くようお知らせしております。</li> <li>・職場を実際に見学できることは学生にとって大きな経験になりますので希望がある学生がいればお願い致します。</li> </ul>
	(33) 学内外の実習施設、インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか	B		
	(34) 防災に対する体制は整備されているか	B		
7. 学生募集活動	(35) 学生募集活動は、適正に行われているか	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページが充実している。また、感染対策を実施しながらのオープンキャンパスや学校訪問が以前のように行われるようになっていく。</li> <li>・オンライン説明会の検討も含め、引き続き学生募集の活動に取り組んでいきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPをこまめに更新することにより現在の学校の状況を把握することができます。</li> <li>・学校説明会やオープンキャンパスの実施については対面で行うことを基本としています。しかしながら、感染状況において参加しづらいという声も聞こえていることから、今後はオンラインで開催することも検討します。</li> <li>・学生募集については、今年度より高校との連絡を取りながら訪問活動を実施しています。</li> <li>・学生の多くは、岩手、宮城、秋田及び青森からの入学となっており、特にも岩手県内と宮城県北地区からの入学生が多い状況であることから、今後の学校訪問を中心とした学生募集活動については、岩手県内と宮城県北地区を重点としますが、山形、福島以南の南東北地区も視野に入れ活動していきます。</li> </ul>
	(36) 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	A		
	(37) 学納金は妥当なものとなっているか	A		
8. 財 務	(38) 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の定員数を維持するため、積極的な募集活動とあわせ、学生の充足率増加に努める取り組みを継続していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の定員充足率の向上は、本校の財政基盤を安定させる上で必要不可欠です。</li> <li>・安定した学校運営ができる目安とされる80%をまずは目標とします。そのためには、HPをはじめとした情報発信が重要であると考えます。また、ガイダンスなどに積極的に足を運び学校をもっと知っていただくことも重要と考えています。</li> </ul>
	(39) 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	B		
	(40) 財務について会計監査が適正に行われているか	A		
	(41) 財務情報公開の体制整備はできているか	A		
9. 法令等の遵守	(42) 法令、専修学校の設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専任教員の不足に対する求人対応を継続し、人的な環境の調整が望まれる。</li> <li>・人員不足の中ではあるが、専任教員の教育養成講習会受講を計画的に進めていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の配置基準は、救急救命学科では3人以上の医師、救急救命士または同等以上の学識経験を有する専任教員、理学療法学科では6人以上の理学療法士である専任教員が必要とされています。</li> <li>・現状では救急救命学科においては学校長を含めて3名が救急救命士であり、一応は基準を満たしていますが、学校長については専任の定義から少し離れる要素もあることから、できればもう一人の専任教員がいれば万全の体制となります。</li> <li>・理学療法学科においては5名の理学療法士である専任教員であり、現状では1名不足しています。このことから1名を採用し基準を満たす必要があります。</li> <li>・専任教員の講習受講については、可能な限り実現に努めます。</li> <li>・必要とされる備品については、順次整備しています。</li> </ul>
	(43) 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	A		
	(44) 自己点検評価の実施と問題点の改善を行っているか	B		
	(45) 自己点検評価の結果を公開しているか	A		
10. 社会貢献・地域貢献	(46) 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急救命学科、理学療法学科とも、継続的に施設を利用した講習会や公開講座等の地域貢献に努めていただきたい。</li> <li>・地域住民との関わりが持てるボランティアの活動参加を継続、検討していただきたい。</li> <li>・地域の行事に参加し、住民との交流を増やしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生のボランティア活動への取り組みについては、学校としても推奨していますので、機会あるごとに学生に呼びかけます。</li> <li>・本校では地域貢献も教育活動の一環としておりますので、地域からの要請に積極的に対応します。</li> </ul>
	(47) 学生のボランティア活動の奨励、支援をしているか	B		
	(48) 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練を含む)の受託等を積極的に実施しているか	A		